

事業計画書

(くすのき補助金)

<p>事業の目的 現状の課題 市民(地域)のニーズ <b>必要性</b></p>	<p>本会の創立40周年記念として、これまでに培ってきた専門性を生かして、地域の動植物の特性を紹介し、身のまわりの自然に興味関心を持ってもらいたい。現実には、一般的にイベント以外に動植物に触れたことはない人が多く、それは単に体験・観察がたいことが多く、その道しほ、サポートがあれば対応できる人が多い。小学校のプールが閉鎖された傾向にあるが、本会が実施していたプールを利用して、生きもの学習(ゼゴレスキュー)をしていたが、今後はできなくなる。子どもには体験する機会が減るため、このほか、別の方へ支援を行う計画にしている。</p>																																								
<p>事業内容</p>	<p>主な内容 <b>実効性</b></p>	<p>動植物、鳥獣の専門分野毎にピンポイントで探検できることができるようにする。植物、動物、昆虫、野鳥、魚類の最新の情報をもとに、逐一記録だけでなく地域の身近な動植物の知らなかった世界を生態図にまとめて取り上げた内容とする。</p>																																							
	<p>スケジュール <b>実効性</b></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予定日</th> <th>予定内容</th> <th>予定会場</th> <th>参加者数見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020.12.1 ~ 2021.3.31</td> <td>分担執筆</td> <td></td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>4.1 ~ 4.10</td> <td>実行委員会(内容等検討)</td> <td>カリオンビル 3-7-1001-4</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>4.11 ~ 4.18</td> <td>初校(執筆等)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.19 ~ 5.10</td> <td>著者入稿</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.11 ~ 5.25</td> <td>再校</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.26 ~ 6.9</td> <td>実行委員会2 テレウ</td> <td>カリオンビル 3-7-1001-4</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>6.10 ~ 6.30</td> <td>本誌印刷</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7月上旬</td> <td>完成(送付)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	予定日	予定内容	予定会場	参加者数見込	2020.12.1 ~ 2021.3.31	分担執筆		16名	4.1 ~ 4.10	実行委員会(内容等検討)	カリオンビル 3-7-1001-4	10名	4.11 ~ 4.18	初校(執筆等)			4.19 ~ 5.10	著者入稿			5.11 ~ 5.25	再校			5.26 ~ 6.9	実行委員会2 テレウ	カリオンビル 3-7-1001-4	10名	6.10 ~ 6.30	本誌印刷			7月上旬	完成(送付)					
	予定日	予定内容	予定会場	参加者数見込																																					
	2020.12.1 ~ 2021.3.31	分担執筆		16名																																					
	4.1 ~ 4.10	実行委員会(内容等検討)	カリオンビル 3-7-1001-4	10名																																					
4.11 ~ 4.18	初校(執筆等)																																								
4.19 ~ 5.10	著者入稿																																								
5.11 ~ 5.25	再校																																								
5.26 ~ 6.9	実行委員会2 テレウ	カリオンビル 3-7-1001-4	10名																																						
6.10 ~ 6.30	本誌印刷																																								
7月上旬	完成(送付)																																								
<p>実施体制① (実施メンバー) <b>実効性</b></p>	<p>植物、動物、昆虫、野鳥の分野毎に、それぞれ別のタイトルにして、それぞれ、植物(中西、渡辺、岩瀬、高野、村松他)、動物(神戸、梶野)、昆虫(津田、山崎、大塚、松井他)、魚類(中島)、野鳥(藤原、半田)</p>																																								
<p>実施体制② (団体の特性) <b>専門性</b></p>	<p>会員はほとんどは、それぞれ別の分野で専門性が高く評価されていて活躍している方が多くあり、その発信力も高い。</p>																																								
<p>目新しさ ユニークさ <b>先駆性</b></p>	<p>実行委員会では、文庫、教科書の扱いなど統一性をとり、中学生以上一般市民の方にも分かりやすい内容に整え、探検の入り口が分かり、戸外での使用が可能な本にして、興味のあるところから捜し出し工夫を加えている。</p>																																								
<p>市民(地域)への効果 <b>公益性</b></p>	<p>・ 情報誌(講座、親子ゼゴレスキュー)を通じて、参加者に紹介していく。 ・ 執筆等自身の紹介、名刺やアポイントの紹介などオフラインに寄与する。 ・ 本会主催の観察会などを通じて、参加者はもちろん、地域の方々への関心にも寄与する。</p>																																								
<p>今後の取組 <b>継続性</b></p>	<p>自然の状態は刻々と変化している。現在認められる種も明日は分からず、勝手にいなくなった種も記録はない。どうしても目新しい種に目ぼいてしまう。足下の自然を自分の記録にいくことが、会員たちの使命でもあるので、今後も継続的に自然を見守りたい。</p>																																								